

「美ら海再生プロジェクト」 Q&A

Q01 寄付先と寄付金額について教えてください。

A01 「美ら海レンタルサーバー」サービスの初年度の収益金の一部を寄付する支援先として恩納村漁業協同組合を選定しております。

初年度は 22,922,340 円（税込）の収益を計画し、その 5%にあたる 1,146,117 円（税込）を目標としています。

Q01 今回寄付先として恩納村漁業協同組合を選定した理由、選定までのプロセスは？

A01 恩納村及び恩納村漁業協同組合様からの強いご依頼もあり、またこれまで恩納村漁業協同組合様の「チーム美らサンゴ」への活動協力といった実績も鑑みて、選定いたしました。

Q02 恩納村漁業協同組合は、寄付金をどう使う予定なのでしょうか？

A02 「恩納村オニヒトデ対策ネットワーク」の活動、「チーム美らサンゴ 2008」の活動支援に使われるとお聞きしています。

Q03 美ら海再生プロジェクトとは？ はじめたきっかけは？

A03 本プロジェクトは、「環境」というキーワードを軸として、新たなビジネスを発生させ、そこからの収益の一部を寄付することで、沖縄のサンゴ礁を取り戻し、沖縄の自然環境保護に寄与することを目的としています。

そのきっかけは、プレスリリースにもございますように、国内最大のサンゴ礁域である石西礁湖のサンゴ礁がこの 5 年間で 70%が消滅したというニュースは、個人的にもダイビングをする私たちにとっては、やはり辛く厳しいものでした。そのような報道があった今年「国際サンゴ礁年」に当たるとともに、沖縄情報ドットネットの出版する月刊おきなわ JOHO が通巻 300 号、創刊 25 周年を迎える年でもあります。この間、地元沖縄のタウン情報を伝え、その楽しみ方を提案して参りました。ここまでやってこられたのも「沖縄」という素材があってこそです。そして、先の石西礁湖の報道を知り、明日の沖縄、そして 10 年後、20 年後の沖縄のために、私たちができることは何だろうか、と思ったことがきっかけです。

生命の源である海を、そしてそこで生息するサンゴを救うことで、沖縄全体の環境保護の第一歩になればと思い、プロジェクトの第一弾として「美ら海レンタルサーバー」サ

ービスの提供を開始いたします。現在別の事業も計画中です。

Q04 美ら海再生プロジェクトの事業目的について教えてください。

A04 本プロジェクトは、「地元の民間主導による地域振興」と「環境保護」の両立を目指した地域循環型社会、経済の構築を目標としており、美しい海を取り戻す活動を行うことで、ヤンバルの森も含め、島全体が豊かに、かつ綺麗になっていくことを目指しています。

その為の意識やきっかけづくりになって欲しいと考えています。

Q05 「美ら海募金基金」について教えてください。

A05 本プロジェクトでは、「美ら海再生プロジェクト」の運営を行う実行委員会と「美ら海募金基金」を運営していく運営委員会を、本日参加しています3社を中心に組織いたします。その中で運営委員会は、寄付先の選定、寄付金の活用状況の確認を行います。実行委員会は、環境保護のムーブメント促進、新たな商品・サービスの企画、開発を行って参ります。

Q06 寄付はいつ実行されますか？

A06 できれば複数回行い、可能な限り多くの組織・団体を支援していきたいと考えていますが、まず初年度は今回選定しました恩納村漁業協同組合様へできるだけ多くの寄付ができるよう、努めて参ります。

また寄付後は、年2回の活動報告を受け、美ら海レンタルサーバーのサイト（URL <http://churaumi.me>）上にて、公表していきたいと思えます。

Q07 別の事業の内容は？

A07 県内アーティストによる楽曲のダウンロード販売や、芸能・芸術作家の作品販売なども計画しています。

Q08 他の計画中の事業も恩納村漁業協同組合への寄付になるのか？

A08 現時点では決まっていません。寄付先は先の実行委員会にて選定の上、決定いたします。対象となる事業者は、沖縄の海やサンゴ保護事業に従事しているのであれば、できるだけ多くの組織・団体を支援していきたいと考えています。

Q09 寄付金は収益の5%とのことですが、上限額はありますか？

A09 一事業者当たりの上限額は設定したいと考えていますが、現時点では決まっておられません。今後、寄付可能金額の増大に伴い、検討して参ります。但し、美ら海募金実効委員会が必要と認めた場合は、その限りではございません。

Q10 何故この3社なのか？

A10 メディアウォーズは、沖縄情報ドットネットの関連会社であり、平成12年から相互に取り組みを行い今日に至っています。メディアウォーズはその頃、沖縄のデータセンター進出を計画していましたが、ネットワークセンターの構築は、諸般の事情により実現にはいたりませんでした。

レキサスは、県内のホスティング、ハウジングサービスを展開するデータセンター事業者で、平成19年のメディアウォーズとの出会いから、急速に交流が深まり、物理的な距離を乗り越え、平成12年の夢を今一度実現するため、パートナーとして立ち上がりました。

今回のプロジェクトの趣旨にも賛同していただいたこの両者と沖縄情報ドットネットにて、それぞれの強みを生かした事業を展開すべく3社結束した次第です。

Q11 本プロジェクトに参加する会社は、今後増やす予定はありますか？

A11 本プロジェクトの主旨にご賛同いただける企業様であれば、基本的にはどの企業様でも参画していただきたいと考えています。その中でもまずは沖縄を活動の拠点している企業が地元沖縄のために立ち上がり、継続的なムーブメントとなることが重要だと考えています。

Q12 収益の構成をどのように計画しているか？

A12 美ら海レンタルサーバーについては、

法人 月額5,040円で156社（うち県内30社）を獲得。初年度6,195,840円（税込）を計画。

個人 月額1,029円で1,950件（うち県内190件）を獲得。初年度16,726,500円（税込）を計画。

合計 22,922,340円（税込）

寄付金 1,146,117円（税込）

3年後には、法人500社（うち県内100社）、個人30,000件（うち県内3,000件）を目標にしています。

Q13 石西礁湖についての数字の根拠は？

A13 朝日新聞社のWebサイト記事「サンゴ7割消えた 沖縄の石西礁湖、環境研と本社が調査」（2008年9月10日3時6分掲載）によります。こちらは国立環境研究所と朝日新聞社の共同調査の結果となっています。

※<http://www.asahi.com/eco/TKY200809090342.html>

Q14 地球温暖化の影響は、サンゴ礁に限った訳ではないと思うのですが。

A14 世界的な水不足や大雨などの極端な気象現象も温暖化の影響と言われていますが、まず沖縄に住んでいる私たちがすぐに行動を起こせる対象は何だろうと考えた時に、やはり身近にあり、その恩恵を与えている沖縄の海を何とかしたいと考えました。ひいてはそれが地球温暖化対策にもなると考えています。

Q15 CO2排出権の付いた商品の開発はなされますか？

A15 世間の動向を見ながら検討していきたいと思います。「美ら海レンタルサーバー」サービスでは、ユーザーに植林やサンゴの移植といった活動に参加していただくサービスプランも現在企画しています。

去る11月8日・9日には、石垣でフクギの苗を植林するツアーを関西からのお客様のツアーを実施し、現在、サービスの有効性・実現性を検証しています。

※ 新聞記事のコピーも準備します。

Q16 この3社は他にも環境保護活動を行っているのか？

A16 沖縄情報ドットネット、メディアウォーズは、これまで実績はございません。今回の事業が最初の大きな取組となります。

レキサスでは、社員有志による社会貢献プロジェクトチーム「スマイルレキサス」が、定期的に社屋周辺の清掃活動を行っております。

Q17 レンタルサーバーの料金は他社よりも安いのか？ レンタルサーバーサービスとしての内容には特徴があるのか？

A17 料金面では、他社サービスとも比較検討し、十分リーズナブルな設定をしております、

機能面でも、大容量のハードディスク、無制限のドメイン、メールの利用など、充実した内容となっております。